

平成27年12月24日

厚生労働大臣
塩崎恭久 殿

公益社団法人
日本診療放射線技師会
会長 中澤 靖夫

医学物理士問題について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は本会の事業に格別のご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、医学物理士の国家資格化につきまして、本会としましては「反対」の声を上げさせていただいております。

放射線治療の安全性や質の管理につきましては、関係5団体で決定し運営されている現在の「放射線治療品質管理士」制度に基づき、今後行うべきであり、現在の医学物理士861名の内、約8割は診療放射線技師免許保有者であり、国家資格が無いものは残りの2割強で、200名にも満たない現状から、これら200名のために新たに国家資格を創設することは、現場の混乱を招くこととなり、チーム医療を阻害する大きな要因となることが予想されます。

今回、反対理由等の関係資料につきまして、下記のとおり整理・追加いたしましたので、ご査収いただければ幸甚でございます。

今後とも、本会の考え方をご理解頂き、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 医学物理士の国家資格化に関する日本診療放射線技師会の考え方【要約版】
2. 放射線治療品質管理士制度
3. 医学物理士の国家資格化に関する日本診療放射線技師会の考え方